

経済学演習 I

必修 2単位

奥田 英信

1. 授業の概要(ねらい)

「開発金融論」の授業です。

新興市場経済の開発金融の諸問題について関心のある人を、対象としています。

経済発展における金融の役割について、マクロ面(経済成長と金融機能)とミクロ面(銀行、証券市場、企業)から学びます。

具体的な事例を用いて、計量分析の方法も学びます。

2. 授業の到達目標

経済発展と金融発展(financial development)との相互関係について、経済学ではどのように捉えているのかを説明できる。

東・東南アジア諸国の金融発展メカニズムについて、経済学の視点から具体的に説明できる。

基礎的な分析手法を用いて、計量的な分析を行うことが出来る。

3. 成績評価の方法および基準

ゼミへの参加度、ゼミ報告の水準などから、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

奥田・三重野・生島 『新版 開発金融論』 日本評論社

参考文献

なし

5. 準備学修の内容

①授業で扱う箇所について、テキストを丁寧に(最低2回)読んでおいてください。

②テキストを読んで理解が出来なかった点について、「質問リスト」を作成して授業に参加してください。

6. その他履修上の注意事項

演習ですから、やむを得ない場合を除き、全ての授業に参加することが履修条件です。

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション:ゼミナールの進めかたを相談して、具体的な予定を決めます。以下は、暫定的な予定の一案です。

【第2回】 経済発展における金融の役割とは何か

【第3回】 過去半世紀の開発金融政策パラダイムの変遷

【第4回】 東南アジア諸国における開発金融パラダイム:産業高度化と金融制度

【第5回】 東南アジア諸国における開発金融パラダイム:金融制度への政治的社会的要素の重要性

【第6回】 東南アジア諸国における開発金融パラダイム:近年の課題

【第7回】 金融発展における銀行と市場:銀行と市場の機能と経済発展

【第8回】 金融発展における銀行と市場:東南アジアの経験

【第9回】 途上国の銀行とその経営特性

【第10回】 金融発展における外国銀行の役割

【第11回】 途上国の銀行のミクロ経済分析:効率性

【第12回】 途上国の銀行のミクロ経済分析:効競争度

【第13回】 途上国の銀行のミクロ経済分析:資本構成

【第14回】 途上国の証券市場:必要性と制約

【第15回】 途上国の証券市場:東南アジア諸国の経験